

さかわ発明ラボ



佐川の魚の人、青木丸です
3年間ありがとうございました！海のない佐川町で魚の作品を作り続けていたら、あつという間に卒業の 때가きてしまいました。思えば広報さかわで描いた4コマ漫画から、僕の魚活動が始まりました。そこから毎月描かせていただいたおかげで、魚の絵が上達しました。広報見たよ！と声をかけていただけとても嬉しかったです。

これからについて
佐川町で魚の活動を続けていきます！作品のみならず、釣りや魚捌きなど、色々なコンテンツを作って行こうと思っています。引き続きどうぞよろしくお願いします！

こんにちは、モノを作っているば幸せの大村暢(みつる)です
現在黒岩に住んでおり、柳瀬川沿いの通勤が楽しくて、黒岩に住んでよかったなーとつくづく思っています
協力隊の活動では、はなもりC-LOVEに所属して山野草を愛でているうちに、佐川のお土産に山野草が少ない!?と思いついて「山野草のお土産」を作りました
また斗賀野ツツジ園のお手伝いをしてるうちに、芝生に寝転がって空を見上げたくなり「大人のゆりカゴ」を作ったりと、自然からアイデアをもらって物作りをしていました
他には自治会で神社の掃除やお祭りを運営したり、集活イベントや、小学校ICT支援員をやったりと色々関わらせてもらってとても楽しかったです
アキレス腱を切った松葉杖になった際には、多くの人に助けってもらい、とても嬉しかったです！
ありがとうございました
これからもよろしくお祈ります！

私の任期は6月までとなり、あと3ヶ月になります。3年前に着任した時は自分がデジタル機材やデザインソフトを使いこなせるようになるには想像もしていませんでした。
思い出深いのは「酒蔵ロード劇場」。1、2年目は子どもたちと一緒にパレードに参加し、3年目である2025年は、自らが企画の中心となり、楽しい光のパレードを実現することができました！
昨年からは町立図書館「さく」にも勤務しており、デジタル機材を利用して図書館グッズを作ったり、企画展の展示デザインも手がけました。
卒業後も佐川町で暮らし、私の専門である紅茶をみなさまと楽しめる場所づくりをしたいと思っています。今後もしよろしくお祈りいたします！

スポーツ

グラウンドゴルフ
令和8年1月23日(金)
1月月例(古用地児童遊園)
3ラウンド 24ホールマッチ

1位	横島 鈴子
2位	森田 克次
3位	山本 彰雄



文芸

川柳

咲きに濁る雀が騒がしい
花見より私は団子が好きやねん
雛壇へ庶民の声が遠すぎる
和田 憲一

俳句

判じ物アイアンレディの高野
足りなくも余るも困る救いなし
それ家訓今更伝統断ち切れず
西森 正信

チノパンを買って四月の図書館へ
山石 ひろ
夜なべして柿剥吊し母のまね
ノノムラ
紅梅の紅のしだれを見て飽かず
味元 佐知子

短歌

木瓜咲いて頬白初鳴き空碧く
石楠花に想い届かず儚けれ
いたどりだ休耕田が蘇る
西森 正信

この日頃恣意の尽だよ物騰がる
なす術あるかかにかが泡吹く
練りみその蕪が大好き爺さんに
生年問えば嘉永五年と
實千両赤も黄色も熟れたのに
音沙汰なしも鶴も鶴も
西森 正信

名の付きし岩や古道はダム底に
湯水となりおらびあるがに
歌の友の背を押しくるる俵せよ
心うきうき歌会に臨む
黒岩 英起

応募先：佐川町教育委員会 社会教育係
〒789-1201 佐川町甲356-2
電話0889-22-1110 FAX0889-22-0000

川柳・俳句・短歌を広報さかわに掲載してみませんか？

※6月号への掲載を希望される方は5月1日(金)まで
投稿方法:氏名・住所・電話番号と、川柳・俳句・短歌のいずれの部門かをご記入のうえ封書やはがき、FAXにてお送りください。応募多数の場合は抽選により掲載します。
※公序良俗に反するものなど、本誌の掲載するものとして適当でない場合は掲載できません

毎月第2日曜日は、さかわ家族防災会議の日

今月のテーマ 家族の役割分担を決めましょう！

地震発生時、安全を確保した後は、火を始末したり、ドアを開けたり、避難経路を確保したりと、たくさんのお仕事をやらなければなりません。地震発生に備え、家族で非常用持ち出し品の準備やお年寄りを誰が助けるのかといった役割分担を決めておき、いざというときに慌てずに行動できるようにしておきましょう。

問 総務課 危機管理対策室 電話 0889-22-7700 防災行政無線確認ダイヤル 0120-331-259